

平成29年度大河原町議会報告会による 意見・要望について（回答）

（総務課）

1. 行政区担当の町職員を教えてください。⇒(会場回答) 町に行政区の町担当者が誰か教えるように伝える。

【回答】地域担当職員制度は、地域（区会）と役場のパイプ役として各行政区に町職員を配置している制度です。要望・課題等は地域で取りまとめていただき、地域の要望として区会が担当職員と相談を行っていただきますようお願いしているところです。

担当職員は、毎年度初め区長あてに連絡しているところですが、どちらの行政区か教えていただければ連絡させていただきます。

2. 災害対策として白石川堤防決壊対策をおこなうべきではないか。

【回答】白石川の堤防決壊対策につきまして、避難所や防災マップの整備による周知、防災・減災に関する情報発信、避難勧告等の発令を適切に行う等の災害対策を今後行ってまいります。

3. 大災害時に役場が中心となって対応できる体制づくりが必要ではないか。

【回答】町では、住民が自らを守る自助、地域社会がお互いを守る共助、そして行政の施策としての公助が適切に役割分担されている防災協働社会を目指しています。それぞれの力が十分に発揮できる体制が減災につながることから引きつづき、体制整備を図ってまいります。

4. 災害時、一人暮らしや困っている人のところへ応援物資等がきちんと行き渡るような体制が必要ではないか。

【回答】応援物資等について、必要な方に行き渡る体制は必要であり、自主防災組織や関係機関と引きつづき、体制整備を図ってまいります。

（企画財政課）

5. むつみ集会所のトイレ入口の段差が30cmあるので改修すべきではないか。

【回答】現在、トイレ入口部分の段差は26.5cmあり、段差の解消のためスノコを置き、内部側に手すりを設けています。

段差解消の改修は構造上難しいことから、集会所管理人とも相談した結果、トイレ入口外部側にも手すりを設置し対応します。

6. 町の経済活性化になるような対策を講じてほしい。

【回答】これまでの取り組みとして、金ヶ瀬地区の川根工業団地への企業誘致により、2社の新規誘致、1社が規模を拡大し、観光面としては、柴田町と連携した一目千本桜のブランド化事業を行っています。今後についても、中央公民館の複合化により新たな起業・創業支援について積極的に取り組んでいきます。

また、現在、策定中の第6次長期総合計画においても、人口減少社会への対応として、地域産業の活性化、働く場の創出や起業・創業支援等を重要政策として位置づけていく予定です。

7. 東桜集会所にエアコンを設置、電気ストーブの更新が必要ではないか。

8. 新開集会所にエアコンを設置してほしい。

【回答】各集会所のエアコンについては、各行政区が設置しています。町では集会所空調設備設置事業補助金を交付しており、平成30年度も引き続き行うことから、活用してもらいたいと考えています。また、電気ストーブ（ブルーヒーター）の更新についても区と協議していきます。

9. 広表第二公園の近くに町の土地があるが、適正な時期に適正な草刈りをすべきではないか。

【回答】この土地の草刈りは、毎年、初夏、夏祭りの時期、秋の年3回実施しておりますが、今年の草刈り時期については、再度検討します。

10. 空き家バンクを何で行わないのか。県のHPにも大河原町は掲載無く、他町に遅れをとっている。もしやっているなら、町民に分りやすくオープンにしてほしい。

【回答】本町においては、震災以降、新築家屋の建設が好調で、空き家となっても建て替えられるケースが多くあります。また、空き家などの賃貸や売買希望者に対しては、不動産業者等が十分に仲介できる環境もあり、町の関与の是非も含め検討しています。

11. デマンドタクシーは角田市や柴田町と連携すべきではないか。

【回答】デマンド型乗合タクシーについては、各市町において地域内の移動手段を確保するものとして、各市町で公共交通協議会を設置し、他の交通機関との整合性やタクシーとの差別化を図り運行方法等を定めています。

また、単なる安価な乗合による移動手段というだけでなく、それによる各市町の商店街の活性化や公共交通事業者の維持など、市町の実情に合わせた運行方法や、利用料金になっています。町の境を越えた連携には各市町の公共交通協議会での了承が必要になります。

(町民生活課)

12. クリーンセンターでの火災の際に消防車が到着するまでに時間がかかった。センターの消火栓の問題を取り上げてほしい。

【回答】放水銃は正常に作動し、ピット内の炎は直ちに消火されており、消防法に基づき設置された消火栓からの放水による消火も適切に行われたと認識しております。

鎮火までに時間を要したのは、プラットホーム・ピット内に煙が充満しており、鎮火の確認に時間を要したものです。

このことから、消防署への通報につきまして、仙南地域広域行政事務組合に確認したところ、通報遅延の認識はないとのこと。また、火災を受けての対策として、破砕機上部の散水装置の常設化、破砕機下部への検出器及び自動散水ノズルの設置、破砕機の点検口の増設を行い昨年7月に完了しております。

13. クリーンセンターは神戸製鋼の関連会社で設計・施行しているが、神戸製鋼の建材が使用されていると思うので調査してほしい。

【回答】仙南クリーンセンターの設計・施工を行いました株式会社神鋼環境ソリューションにおいて、施設への建材及び設備機器への使用状況等を現在調査中です。

(健康福祉課)

14. 母子手帳の交付日が決まっていて、働いている女性には不都合も多いのでなんとかならないか。

【回答】指定された母子手帳交付日に都合のつかない方は個別に交付日以外の日時に交付していません（平成28年度母子手帳交付数185人中交付日以外に交付した方は49人（26.5%）でした）。

15. 蔵王町は予防接種等ワクチンの補助が良いと聞くが、大河原町でも補助を充実してほしい。

【回答】任意のワクチン接種の費用助成のことと思われませんが、蔵王町において、数種類の任意の予防接種に対し費用助成をしていることについては承知しているところです。

任意接種は予防接種法に基づく定期予防接種とは異なり、接種希望者本人又は保護者個人の判断において接種すべきものであることから行政が必ずしも推奨できるものとはなっていないところです。また、健康被害があった際の救済や補償の制度も異なっております。

本町においても、平成27年度から受験対策として中学3年生の季節性インフルエンザワクチン接種の全額助成を実施しているところではありますが、現在任意接種とされているワクチンの定期接種化すべき優先度の高いものについて、厚生労働省厚生科学審議会において、その有効性等の評価、検討が行われておりますので、その動向を見極めた上で、対応してまいりたいと考えております。

(商工観光課)

17. 花見の時期以外に何か活気のあるイベントや見所がほしい。

【回答】花見の時期以外でのイベントの開催等につきましては、商工会や観光物産協会等と連携し、6月に梅まつり、8月に夏まつり、10月にオータムフェスティバルの開催を行っているところです。

本年度新たなイベントとして、柴田町との2町連携事業である「白石川堤一目千本桜ブランド化事業」により、冬場のイベントとしては初めてとなります「おおがわら桜イルミネーション」を、12月に実施いたしました。

今後も、花見の時期以外での新たなにぎわいづくりについて検討してまいります。

18. 川根工業団地は地元雇用につながっているのか。

【回答】川根工業団地への新たな企業誘致につきましては、現時点において3社の誘致を行い、団地内の町有地への誘致は全て完了しているところです。

その内の1社につきましては21名の町内在住者の雇用が行われております。2社は現在工場の建設等が進行中でございます。

各企業に対しましては、これまでも誘致に至るまでの間、企業との協議等の中で地元雇用につきましても積極的にお願いを行ってまいりました。

雇用につきましては各企業において決定するものではございますが、今後も地元雇用につながるよう町として働きかけを行ってまいります。

(地域整備課)

19. 玉山食堂から朝倉商店までの道路が狭いので改修して欲しい。

【回答】一般県道蔵王大河原線となるため宮城県大河原土木事務所に要望します。

20. 葦神堰の工事は花見の時期に休工と聞いているが、花見客に対して迂回路や安全確保の徹底を図ってほしい。また、児童・生徒の通学路でもあるので、これについても安全確保をお願いしたい。

【回答】工事に伴う迂回路の設置や児童・生徒の通学路の安全確保については、工事発注者であります宮城県大河原地方振興事務所農業農村整備部に十分に配慮するようお願いするとともに、工事施工業者への指導徹底も図るようお願いしてまいります。

21. 東桜は土地が低く大雨のときに水が上がるので、機関場を整備するなどの対策を考えてほしい。

【回答】東桜地区の抜本的な雨水対策は、公共下水道事業雨水計画でポンプ場を設置して雨水を荒川に排水する計画となっております。雨水対策につきましては、多額の費用と期間を要する事業であり、町全体の浸水被害状況を勘案しながら雨水管理総合計画を策定し、浸水区域の解消に取

り組んで来ているところです。現在は床上・床下浸水被害が多発している稗田前・高砂町地区等の雨水対策として、柴田町と共同で鷺沼排水区の工事を実施しております。今後鷺沼排水区の浸水被害の軽減等が確認できれば、東桜地区を含めた浸水被害の多い地区へと計画的に雨水対策を実施していきたいと考えております。

なお、外の浸水地区については、大雨時の応急処置としてポンプの設置や土のう等で対応を行っているところです。

22. 川床が浅くなっているのので、浚渫工事を県に要望してほしい。

【回答】宮城県大河原土木事務所に要望します。

23. 堤地区の道路は通学路にもなっている。道路は交通量も多く、スピードを出して走行している車も目立つので、子供の安全対策として歩道を整備してほしい。

【回答】歩道の整備については、用地も必要となりますことから、今後、関係課と検討してまいります。なお、現在、県道蔵王大河原線の改良工事で迂回路となっているため交通量が普段より多くなっておりませんが、工事は2月中旬で一端完了いたしますので車両台数も減少するものと考えております。ご迷惑ご不便をおかけしております。

24. 新開から馬取山へ抜ける道路の側溝が老朽化し水の流れが悪いので 100mずつでも整備してほしい。

【回答】堤馬取山環状線に並行し、現場打ちコンクリートで一体化設置された用排水路兼用の側溝となっており、側溝からの漏水防止の為にコーキング工事により修繕を行っております。また、宅地の蓋掛部におきましては、土砂堆積による流れが悪い状態でありますので、今後土砂撤去作業を実施し、維持管理に努めて行きます。

側溝の改修につきましては、道路擁壁と一体化になっておりますので、側溝のみの改修は困難な状況にあります。

25. シルバー人材でやっている道路の草刈の際、空き缶やゴミも一緒に回収処理してもらえないか。

【回答】道路の草刈りは、役場の直轄及び建設業者に委託して実施しております。ゴミについては回収するようにしておりますが、今後、作業時に確認を徹底するよう指導いたします。

26. 駅周辺の段差解消は考えているのか。車いす利用者は困っている。

【回答】ご迷惑ご不便をおかけしております。駅周辺の歩道の段差解消については、できるだけ早期に進めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

27. 自由通路は、駅改札口内のE Vの共有化は出来ないのか。

【回答】自由通路は、駅東側と駅西側を結ぶ通路であり、町の施設となっております。一方、駅改札構内にあるE Vは、駅利用者の駅舎とホームを結ぶ跨線橋に備えられたE Vであり、J Rの施設となっていることから共有化は難しいと考えます。

(農政課)

28. 大高山遊歩道に季節ごとに花でいっぱいにしてほしい。

【回答】大高山遊歩道につきましては、文部科学省の補助を受け、学校教育の一環として小学生を主体とした体験型の自然観察林として整備されております。

春には、カタクリの群生地として町内外から多くの人々が観察に訪れております。

遊歩道は、里山の景観を維持し、その地域にあった実のなる樹木や山野草の整備を行っているところです。外来種や観賞用の草花の植栽は、景観にそぐわないと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。

29. 西地区の基盤整備事業を進めてほしい。

【回答】現在西地区のほ場につきましては、耕地整理により整備された10a(1,000㎡)の水田であり、耕作道も狭く大型機械の通行も容易でなく、用水の係も悪い状況にあります。

町では、ほ場整備の実施により、水田の汎用化(乾田)・担い手への集積が進むことにより、基幹作物の栽培等にも取組み、安定した農業経営が可能になってきます。

ほ場整備事業は、地権者による国への申請事業となっておりますので、地権者の気運の盛り上がりが必要となってきます。地権者の団結を戴きながら、ほ場整備事業を推進していきたいと考えております。

30. イノシシ対策を地域(広域)で実施できないのか。

【回答】県大河原管内(仙南2市7町)において、有害鳥獣捕獲推進会議(担当者会議)・鳥獣被害対策連携会議(担当課長会議)が開催され、管内市町の連携について検討協議・意見交換をして情報の共有化を図っているところです。

具体的な連携については、宮城県では、鳥獣被害対策指導員を今年度から配置して捕獲並びに鳥獣被害対策の支援体制を整えたところです。

また、捕獲物等の処分に関しましては、白石市、蔵王町、川崎町において解体処理施設を独自に設置している状況にあります。このように各市町が単独で対応するのではなく連携しながら対応できないか検討・協議してまいります。

(上下水道課)

31. 今後、耐震工事などで水道料金が引き上げられないか。

【回答】水道施設の耐震化につきましては、料金の算定時に水需要の予測、人件費、施設の更新費用や耐震化費用等も考慮した収支計画に基づき事業を行っているところです。従いまして現行の料金の中に耐震化費用も含まれておりますので、耐震化工事による料金の引き上げは無いものと考えております。

(生涯学習課)

32. 公民館改修に伴い駐車場を確保してほしい。

【回答】現状は、手狭な駐車場であることから、近隣の空きスペースや民間駐車場及び民間協力駐車場も含めて、出来る限り駐車場が確保できるように進めてまいります。

33. 公民館に社会教育センターのような部署を設置し青少年育成につなげてほしい。

【回答】中央公民館の複合化工事完了後に、行政組織見直しにより、生涯学習課と中央公民館が統合し、新しい中央公民館の事務所となります。これに伴い、住民の皆様の利便性向上と、これまで以上の事業推進を目指してまいります。

(企画財政課・商工観光課・地域整備課・農政課)

34. 国見の「道の駅」を見てきたが、大いに賑わっている。飯舘の「道の駅」は、300人の村に1日500台以上の車が来ている。これがまさに活性化であると考えているが、当町ももっと本格的に議論してほしい。

【回答】本町の持つ、中心性・拠点性・利便性を十分に活かす必要性を強く感じているところであります。そのためには、より一層まちづくりの議論を深め、住民の皆様の幅広いご意見をお聴きしたいと考えております。